

「令和4年度伊達市ふれあい懇談会（伊達地域）」発言録

日 時：令和4年11月7日（月）

18時30分～20時10分

場 所：伊達福祉センター

市 長：説明「市長あいさつ、伊達市の5つのまちづくりについて」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

農林業・商工業・観光関連

■レンタサイクルについて

市 民：いろいろなプロジェクトが進められているが、成果を上げることが重要だと思う。予算化されたプロジェクトの中で成果があるのか疑問なのが伊達町で貸し出しているレンタサイクルについてである。開示請求したところ、昨年650万円の予算をかけ伊達町だけでなく各町にレンタサイクルが配置され、今年の4月から9月までの貸出実績が計175台、売り上げが42,800円であった。月に換算すると売り上げはないに等しい。さらに調べると、各自転車にGPSを設置しており、貸出先の社団法人へ維持運営費として毎月60万円程要していると思われる。道の駅での貸し出しを例にすると2週に1回の利用など、売上と維持費が釣り合っていない。悲惨な状況であるのに、市民なのか観光客なのか誰をターゲットにし、いつまで続けるのか。また、これからオフシーズンに入るため、さらに利用数は減少すると思われる。伊達町の人間についても自前で自転車を持っているのであるから、事業の方向転換が必要でないか。税金で行っている事業なのだから、途中で評価をして福祉や町内会に予算を配分するように、よく考えてほしい。

産業部長：実績としては多くの方に利用していただけていないことは事実です。実証実験をしながらになりますが、市内全域にて事業を続けていく予定です。市長が申しあげたとおり市内には名所がたくさんあり、それらを車で通過するのではなくレンタサイクルを使いながら市の良いところを見ていただこうと考えているところです。伊達地域のターゲットに関しては、大型商業施設の来客者を対象にしている部分もあります。もちろん市民の皆さんにも使っていただきたいと思います。費用対効果については、レンタサイクルを利用した人が観光地で買い物をする等の経済効果も含め評価していきたいと思います。もちろん利用者数が少ないことが続けば軌道修正も必要と考えていますが、今年度から始まった事業であるため、もう少し取り組みを見守っていただければと思います。

市 民：すでに結果は出ているため、レンタサイクル事業を伊達市で行うことは身の丈を超えている。GPSについても無駄であり、大型商業施設も来年完成しないのに

事業継続する必要性がない。

■森林の整備について

市 民：市長の説明で、従来の森林を守っていききたい旨の話があった。地域の中で自治会がやっていることも行政に面倒見ていただいているが、まだまだ十分ではない。今後とも地域に点在する緑の保全についても目を向けていただきたい。

産業部長：山林の保全ができていない状況が続いていたため、対策として森林環境地方税というお金が国より市へ入ってきています。令和３年度は1,500万円ほどあり、森林整備、担い手育成、木材活用、林道整備などに活用しています。国、県と協議必要ですが、維持管理できるように今後も有効活用していきます。

都市整備対策政策監：市内に点在する公園などの緑地整備の考え方について説明します。公益的に使用される公園については市が積極的に管理していきますが、町内会が限定して使用する地元密着型の小さな公園に関しては地域の皆さんにご協力いただきたいと考えています。市の支援として、倒木や急な法面での作業といった危険な作業を伴う場合は市が対応します。除草剤の支給等も相談いただければ予算の範囲内で対応します。また、ぜひ皆さんに使っていただきたい制度として「伊達市ふれあいサポートスタッフ制度」があります。こちらの制度をお使いいただくと、上限がありますが花苗や肥料費用等に対しての手厚い支援が可能です。

市 民：「伊達市ふれあいサポートスタッフ制度」を活用したところ、手厚い支援が受けられなかった。年間で15,000円しか受け取れず十分な植樹ができない。住民と協同のまちづくり推進のために見直しをお願いする。

都市整備対策政策監：手厚い支援とは、制度を利用している場合としていない場合の差として多くの支援が受けられると説明したものです。支援には制限もあり、見直しが必要な部分もあるため今後検討していきたいと思います。

健康・福祉関連

■医療体制について

市 民：若者が定着するために学校、医療、都市公園が大事である。市には現在、産科の医師がいないことが不安である。産科を含めた小児科病院が必要と考えるが、市の現状、課題解消法を説明いただきたい。

健康対策担当参事：市内の産科については承知の通り、令和３年２月に市内唯一の産科が閉院となり、残念なことに思っています。少子化と医師不足により、市内に産科を設置することも困難に感じています。妊婦が安心して子育てをできるように支援をしていきたいと考えています。市長から話があったとおりネウボラ事業により、妊娠届をされてから一人ひとり保健師が担当し、妊娠中の心配事に寄り添う支援をさせていただいています。皆さんの意見を伊達の医師会と県

の担当に伝え、協議をしながら今後の医療体制強化のために検討していきたいと思います。

生活環境関連

■ごみの収集について

市 民：ごみの分別をしないで捨てていく人が多い。ごみの捨て方において、外人のルール違反も見られたため張り紙等で対応しても一向に違反者の数が減らない。市の広報紙による周知、ごみの収集、ごみステーションの適切な管理をお願いする。

市民生活部長：ごみ出しのルールを守らないことで、いろいろな情報が市にも寄せられています。ごみステーションを管理する町内会の皆さんには大変苦勞させてしまっていると感じます。なかなか徹底されない現状でもあるため、広報紙を通じて改めてごみ出しのルールを呼びかけていきたいと思います。ごみステーションの借り上げについては、自治会のルールに則り無償で借りているところもあれば、土地所有者に何らかのお支払いをしているところもあると思いますが、市では把握していない現状にあります。ご了承願います。

建設・土木関連

■大型商業施設建設予定地周辺の道路について

市 民：大型商業施設の来場者が年間1,500万人を見込んでいると話があったが、東京ディズニーランドで年間3,000万人、那須アウトレットモールが年間600万人という数字を見ると不安な部分は道路である。仮橋をそのまま残すという手段、399号線についても一部3～4車線にすること、インターチェンジと399号線の接続点にも出口を設けること、観光客が周遊できるような周回道路などが伊達市の発展のために重要であると考えている。

建設部長：399号線については地震による被災で国がしっかり復旧に向けて動いています。保原町と伊達町を結ぶ重要路線であるため県と協議しながら今後の方向性を検討していきたいと思います。